

1 めざす学校像

「学業」「マナー」「課外活動」のバランスがとれ、しかも生徒が、自由に伸び伸びと個性を生かせる極めて上質の普通の学校をめざす。

- ①グローバルな人材育成の観点から、生徒の夢の確認とその実現に向けてきめ細かな学習指導、進路指導をする学校。
- ②思いやり・心づかいの気持ちを基に、他人に迷惑をかけず社会的ルール、校内ルールを守る生徒を育成する学校。
- ③生徒自身が自己肯定感を持てるよう、自分で目標設定し、それを達成していくことで得られる自信、また、失敗しても繰り返し挑戦するという意欲、自分自身、自分の周囲の人たちを誇りに思えるような生徒の育成。

2 中期的目標

1. グローバルな人材の育成

- (1) 語学研修の内容の充実、参加への呼びかけと参加人数の定着に向けて。
- (2) ディベート力の習得。「総合的な学習」のなかで年間8時間程度の実施。論理的な思考方法を学ぶ。自分の意見を積極的に表現することができる人材の育成

2. 学習指導の点検

- (1) 生徒が自ら学ぼうとする「仕掛けづくり」を教員間で共有
- (2) 家庭学習時間調査を継続して実施し、生徒の自発的な学習時間を伸長させる指導。
- (3) 生徒の自学自習の定着を図る

3. 「マナー日本一」をめざす。

- (1) 挨拶・言葉づかい・身だしなみ・ルール順守・思いやり・心づかいなどの基本事項を徹底する。
- (2) 通学路、通学電車内の登下校指導を継続し、品位あるマナー・正しい制服着用等の指導を強化する。
- (3) 所属するクラブにおいて、部員としての誇りとその責任を自覚させ、品位ある行動に導く。

3 学校自己評価のまとめ

1. 勉学の取組、クラブ活動、学校行事など生徒が自己肯定感を持ち、学校生活を送れているようだ。
2. 11月に生徒・保護者に実施した「学校評価アンケート」では、服装規定遵守・挨拶励行など指導により年々改善されている。
3. 総合学習でのディベートは教案の充実もあり、昨年度よりもすぐれたものになった。
4. 自習の在り方が、自習室だけではなく教室でも行っていたが、監督を付けずに運営できていることは評価できる。
5. 国公立、私立を問わず難関大学への進学実績が飛躍的に伸びた。神戸大学をはじめ国公立大学に28名合格したことと、関関同立への合格者が昨年実績までは届かないが78名は評価できる。
6. 校内に臨床心理士常駐のカウンセリングできる施設（自己開発研究所）があり、生徒のカウンセリング、コンサルテーションを行い、一定の成果があった。
7. 外部指導員に頼らず、年2回（6月・11月）本校教員間で授業力を高める努力をしたことは評価できる。

<p>エ. 韓国の高校との交換ホームステイの実施</p> <p>オ. セブ島（フィリピン）での英語研修・ボランティアツアーの検討・立案。</p> <p>(2) ディベート力の習得。論理的な思考方法を学ぶ。</p>	<p>～1月8日（3泊4日）で韓国釜一外国語高等学校の生徒の家庭にホームステイ。1日は釜一外国語高等学校で授業参加・文化交流を楽しんだ。休日はホストファミリーと観光。</p> <p>オ. 平日は英語研修。マンツーマンの授業が1日の半分を占める計画で、本人の英語を聞き、話す時間が十分に確保されている。1日10コマのまさに英語漬け。</p> <p>また、現地での世話をいただく国際協力ボランティア団体「DAREDEMO HERO」企画による、HERO'S HOUSE にいる子供たちとの交流、現地公立高校・私立高校との交流も企画している。</p> <p>(2) 総合学習で各学年、各クラスでディベートの発展を学ぶ。</p>	<p>エ. 参加生徒の人数。</p> <p>オ. 具体的な計画の発表</p> <p>(2) 実施回数、生徒の取り組み状況。</p>	<p>エ. 本校からの参加生徒20名。韓国からの生徒21名。</p> <p>オ. 計画が妥当と評価。来年度に向けての準備に入る。校長・教頭でプログラム実施の場所を下見実施した。</p> <p>(2) 昨年同様、総合学習係（教員）が年間8時間の教案を作成し、「総合学習」の時間に年間8回実施した。生徒は少しマナー化してきたようで、教案の見直し、教員の研修がさらに必要である。</p>
--	--	---	--

<p>2 学 習 指 導 の 点 検</p>	<p>(1) 教員の授業力強化</p> <p>(2) 生徒の家庭学習時間を延ばす。</p> <p>(3) 自学自習の定着を図る。</p>	<p>(1) 外部指導員を今年度から招聘せず、管理職が中心になり、授業評価を行う研究授業を実施。相互授業見学と講評会の実施。</p> <p>(2) 生徒の家庭学習時間を伸ばす。</p> <p>(3) 自習室を中心とした学内での学習時間の確保。参加呼びかけ。</p>	<p>(1) 参観される授業の客観的な評価点。研究授業の回数。相互授業参観の実施回数と講評会の内容と評価点。</p> <p>(2) 生徒学習時間の実際の伸び率。</p> <p>(3) 自習室、及び他の場所（図書室、教室）での自習者の参加状況。</p>	<p>(1) 昨年と同様、9月と11月に研究授業と相互参観授業が実施された。研究授業はそれぞれ5回、相互参観授業は9月11月を合わせると30名以上の教員が参観され、またほぼ全教員が参観したことになる。</p> <p>(2) ベネッセのスタディサポートによる調査結果。1年生、2年生とも基準値が「2時間」のところに来ており、順調に家庭学習時間は増えている。ただ、自宅で「ほとんどしない」が数値は減少したものの1年生では10%、2年生では12%いる。</p> <p>(3) 確実に増加傾向にある。クラスでの取り組みも含めた参加人数は確実に増加した。「静かに自習する」教室、「グループで自習して声を出してもいい」教室、「自習しながら先生に質問できる」教室など種別を考える時期。</p>
--	--	--	---	---

<p>3 マ ナ ー 日 本 一 を め ざ す</p>	<p>(1) 挨拶などの生活の基本事項を徹底させる。</p> <p>(2) 登下校指導・服装頭髪規定順守などの生活指導に取り組む。</p>	<p>(1) 校長自ら高校校舎玄関前に立ち、クラブの生徒も挨拶に並ぶ。</p> <p>(2) 最寄りの駅近くの立ち番を強化する。また、服装頭髪規定を遵守させるため、生徒指導の教員が下校指導の際に服装頭髪指導も行う。「シルバー人材」の方にも協力いただいている。</p>	<p>(1) 生徒・保護者アンケートからの「挨拶は自分から心がけているか」の項目における割合。</p> <p>(2) 登校時、下校時の立ち番の場所・頻度。生徒・保護者学校評価アンケートの数値。「服装・頭髪など学校の規則を進んで守っている。」</p>	<p>(1) 高校1年生・2年生のアンケート(全コース)からは77%(特にそう思う37%、そう思う40%)で、昨年よりも明らかに「挨拶をする生徒の数」が一定の数字に表れてきた。</p> <p>(2) 生徒アンケート結果によると「服装・頭髪など、学校の規則を進んで守っている」の数値が(全コース)92%(特にそう思52%、そう思う40%)、保護者アンケート(全コース)の結果は「学校の生活指導(服装・頭髪検査・挨拶など)に共感できる88%(22%、66%)。</p>
---	---	---	--	--

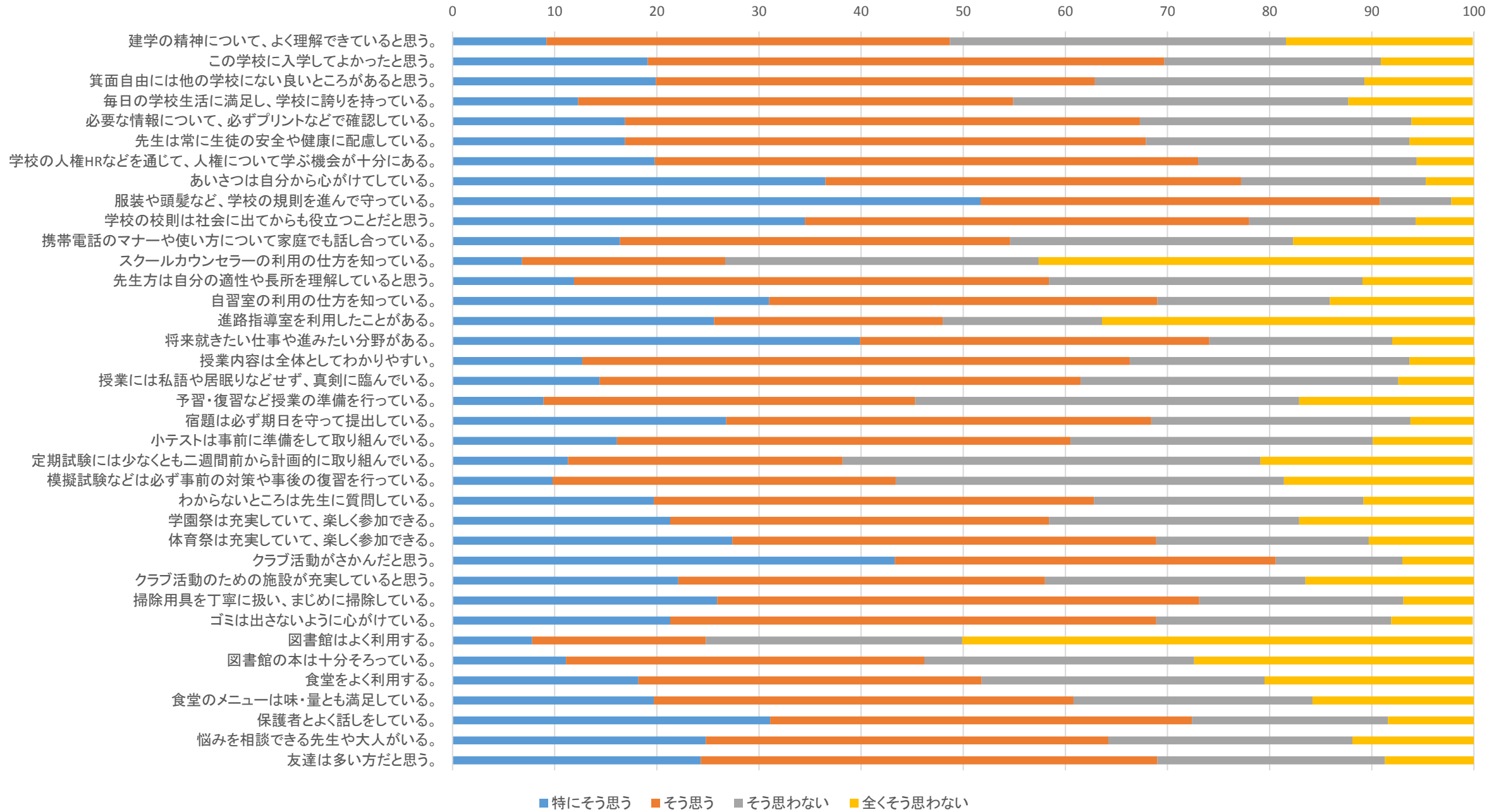
5 学校関係者評価

1. 総合進学コースは何をめざしているのかわかりにくいので特徴的なものを示すべきである。
2. ディベートは結構難しいと思うので、まずは、プレゼンテーションを生徒にさせてみてはどうか。
3. ICTなど時代は大きく変化しているので、新しい授業手法も取り入れて授業をする先生がもっと増えるべきだ。
4. 入試結果はよくはなかったが、原因を生徒の資質に求めるのではなく、全ての教員が入試結果につながる仕掛けを考え、実践すべきだ。
5. 生徒増による自転車通学者増加は仕方がないことだが、「安全教室」など警察にお願いして外部からの「教育」も必要である。
6. 「ボランティア活動」が他校に比べて組織化(クラブ活動でも可)されていないので、是非検討すべきである。

6 財務状況

別紙参照

2016年度 生徒対象 学校評価アンケート



2016年度 保護者対象 学校評価アンケート

